

ひなたぼこ 支援プログラム

事業所名	社会福祉法人東郷ひなた 放課後等デイサービスひなたぼこ
作成年月日	令和6年4月1日（修正:令和6年12月2日）
法人理念	障がいがあっても一人ひとりが普通の生活の中で幸せを感じながら生きている
支援方針	子どもの獲得すべき課題や困った行動には、応用行動分析学をベースに適切な支援を行います
	子どもの発達年齢や障がい特性に応じて構造化することで環境面から社会参加を支援します
	子どもの自立を支援します
営業時間	学校終了後～18:00（3時間以上、送迎時間を含まない）
	休日は、10:00～16:00（6時間以上、送迎時間を含まない）
送迎	実施（学校・事業所間、ご自宅・事業所間、学校→事業所→ご自宅）

プログラム名	本人支援（5領域との関連性）				
	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語 コミュニケーション	人間関係・社会性
体調チェック・検温	○	○		○	○
手洗い・うがい	○	○			○
宿題・課題		○		○	○
おやつ	○	○		○	○
お買い物	○	○	○	○	○
みんなで踊ろう	○	○	○	○	○
楽器であそぼう	○	○	○	○	○
感覚統合あそび	○	○	○	○	○
読み聞かせ		○		○	○
創作活動	○	○	○	○	○
公園遊び	○	○	○	○	○
スポーツ（室内・屋外）	○	○	○	○	○
エクササイズ	○	○			○
お友だちワーク（集団）	○	○	○	○	○
タイピング練習		○		○	○
ウォーキング	○	○	○	○	○
トイレトレーニング	○	○	○	○	○

家族支援	ご本人だけでなく、そのご家族「ごきょうだい」の抱える不安や困りごとにも重要な支援課題に位置付け、個別に相談援助を実施します。ライフステージごとに関係性も心配事も変化します、将来の生活も想定しながら、ご家族への支援を行います。また、個別のご要望に応じてペアレントトレーニングを実施しております。
移行支援	将来「どんな生活を送りたいか」「どんな活躍がしたいか」など、ご本人の想いを中心に「卒業後」を想定した支援を在学中から実施します。 障がいがあっても、実年齢に配慮したサービス提供を行い、地域交流の機会を設け、場面ごとの会話や行動を「楽しみながら」学びや社会スキルの獲得を支援することで、移行支援に取り組んでおります。
地域支援 地域連携	ソーシャルスキルトレーニング（SST）の考え方をもとに、困った場面ごとに、ふさわしい行動を学んでいただけるように支援します。 また、事業所の実施するプログラムや季節ごとのイベントは、必要とされる支援や配慮が得られる環境をご用意しております。楽しみながら「地域社会で必要とされるスキル」の獲得を支援します。
職員の質の 向上	はたらきやすい環境づくりを行うことで満足度を高め、仕事への意欲を高く保てるように配慮します。職員の理解度や目標ごとに研修計画を作成することで、学習に対する満足度や日々のサービス提供に対する達成感が得られるよう配慮します。 応用行動分析学をベースにした支援スキル、知的障がいや発達障がいへの理解を高め、障がい特性に応じた構造化を学ぶことで、ご利用者様の満足度を高められる人材育成を行っております。
主な行事	誕生日会、初詣、書初め、節分、バレンタインデー、ひなまつり、進級お祝い会、お花見、七夕、流しそうめん、水遊び、かき氷、蛍の学習会、ハワイアンミュージック、防災の日、避難訓練・防災体験、ハロウィン、ひなたのひなまつり（法人全体のお祭り）、SDGsを学ぼう、野菜収穫、カレーパーティー、クッキング、クリスマス会、ビンゴ大会、ボーリング大会、ボッチャ体験、絵画教室、社会見学、公共交通機関・巡回バス体験、地域行事への参加、音楽祭・ダンス発表会 など